

4年間の学びの流れ

黒太字：必修科目

その他：選択必修または選択

カリキュラムの特色

歴史学全般の知識および専門的な方法論を身につけられるよう、初年次段階から専門科目を学びます。多彩な講義や演習を通じて幅広い教養と深い学識を修得しつつ、自らが興味関心を持って研究できるテーマは何か、指導教員との対話を通じて確定させてゆきます。これらの過程で自ら調べ自ら考える力を養い、その総仕上げに卒業論文作成に挑みます。

卒業（124単位以上）

必修科目（42単位）
選択必修科目（36単位以上）
選択科目（46単位以上）

1年次

大学で求められるのは、自ら調べ自ら考えること。丸暗記とは異なる歴史学の世界に入門します。

共通 基礎ゼミナール

日本史 日本史研究入門(1)
日本史研究入門(2)

アジア史 アジア史研究入門(1)
アジア史研究入門(2)
・アジア文化史

西洋史

西洋史研究入門(1)
西洋史研究入門(2)
・ヨーロッパ文化史

地理

地理学概説(1)

資格関連

・生涯学習概論
・博物館概論
・図書館概論

2年次

扱う時代も地域も異なる、さまざまな授業を受けることで、歴史に関する視野を広げていきます。

共通 文献講読(1)
文献講読(2)
・文献講読演習
・コミュニケーション能力基礎演習

日本史 日本史概説(1)
日本史概説(2)

アジア史 アジア史概説(1)
アジア史概説(2)

西洋史 西洋史概説(1)
西洋史概説(2)

地理 地理学概説(2)
地誌学(1)
地誌学(2)

テーマ史

・都市の歴史
・革命と戦争の歴史
・犯罪と刑罰の歴史
・生活文化史
・医療と健康の歴史
・アジア宗教史
・ヨーロッパ精神史
・交易の歴史
・日本女性史
・外国女性史
・日本美術史
・西洋美術史

資格関連

・法学概論(国際法を含む)
・政治学概論(国際政治を含む)
・社会学概論
・経済学概論(国際経済を含む)
・哲学概論
・倫理学
・宗教学概論
・博物館経営論
・博物館資料論
・博物館資料保存論
・博物館展示論
・博物館教育論
・博物館情報・メディア論
・図書館情報技術論
・図書館サービス概論
・児童サービス論
・図書館情報資源概論
・図書・図書館史

3年次

時代・地域別の演習(ゼミ)を選択し、その分野を専門とする教員から研究の手ほどきを直接受けます。

日本史 日本古代史
日本中世史
日本近世史
日本近・現代史
古文書学
日本史演習(1)
日本史演習(2)
日本史演習(3)

アジア史 東アジア史
アジア古代文明論
西・南アジア史
アジア史演習(1)
アジア史演習(2)

西洋史

ヨーロッパ古代文明論
ヨーロッパ中・近世史
ヨーロッパ近現代史
西洋史演習(1)
西洋史演習(2)
考古学概論(1)
考古学概論(2)

テーマ史

資格関連

・博物館実習
・図書館制度・経営論
・情報サービス論
・情報サービス演習(1)
・情報サービス演習(2)
・情報資源組織論
・情報資源組織演習(1)
・情報資源組織演習(2)
・図書館情報資源特論

4年次

史学科の学びの集大成は、何と言っても卒業論文。半年から1年を費やし、20,000字以上に及ぶ論考を作成します。

共通 史資料演習
卒業研究演習
卒業研究

司書を取得するための単位数30単位
学芸員を取得するための単位数24単位(実習も含む)

※カリキュラムは2026年度のもので、科目等は変更になる可能性があります。

※設置者変更認可申請中。設置計画は予定であり、変更となる場合があります。